

第97回(平成28年度 第1次)新技術開発助成の募集

(公財)新技術開発財団

当財団の新技術開発援助は「独創的な新技術の実用化」をねらいとしており、基本原理の確認が終了(開発段階終了)した後の実用化を目的とした開発試作を対象にしています。

■企業の要件

(1)資本金3億円以下または従業員300人以下の自ら技術開発する会社 (2)大企業、上場企業、及びそれらの関係会社でないこと

■開発技術の要件

(1)独創的な国産技術であること (2)実用化を目的とした開発試作であること (3)実用化の見込みがある技術であること

(4)開発予定期間が原則として1年以内であること ほか

■助成金額: 試作費合計額の2/3以下で2,000万円を限度

■受付期間: 平成28年4月1日~4月20日(締切日消印有効)

■問合せ先: (公財)新技術開発財団 TEL:03-3775-2021 FAX:03-3775-2020 URL:<http://www.sgkz.or.jp>

平成28年度課題解決型福祉用具実用化開発支援事業に係る助成事業者の公募(予告)

NEDO

「福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律」に基づき、福祉用具の開発を行う中小企業等に対して助成金を交付することにより、福祉用具の実用化開発を推進し、高齢者、心身障がい者及び介護者の生活の質を向上することを目的としています。詳細は、公募開始時に公募要領を確認してください。

■公募期間(予定): 平成28年3月下旬から平成28年5月中旬の予定です。公募開始予定日は平成28年3月下旬

■説明会: (平成28年3月以降に公募説明会を予定しています。)

■応募方法等

公募要領等の詳細は公募開始日にNEDOのホームページに掲載します。URL:http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100101.html

■お問い合わせ先: イノベーション推進部 プラットフォームグループ 担当者: 重本、池田、竹内

TEL:044-520-5175 FAX:044-520-5178 E-MAIL:fukushi@nedo.go.jp

平成28年度「中堅・中小企業への橋渡し研究開発促進事業」に係る助成事業者の公募(予告)

NEDO

中小企業等が橋渡し研究機関から技術シーズの移転を受けてビジネスにつなげることや、中小企業等が保有する技術を橋渡し研究機関の能力を活用して迅速かつ着実に実用化することを通じて、中小企業等が技術力向上や生産方法等の革新等を実現することを支援します。詳細は、公募開始時に公開される公募要領等をご確認ください。

■応募期間(予定)

(1)事業を実施する中小企業等の募集→平成28年3月下旬開始予定 (2)橋渡し研究機関の申請受付→平成28年3月下旬開始予定

■応募方法等

公募要領等の詳細は公募開始日にNEDOのホームページに掲載します。URL:http://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100103.html

■お問い合わせ先: イノベーション推進部 プラットフォームグループ 担当者: 板倉、渡邊、梅村、綱島

TEL:044-520-5175 E-MAIL:hashiwatashi28@nedo.go.jp

年度末のご挨拶

会員の皆様には日ごろご支援を頂きまして誠にありがとうございます。

本年度もいよいよ終わりとなり、新たな年度を迎える季節となりました。やっと気候も和らいできております。また、3月11日の交流会にご参加いただきました会員様にはありがとうございました。本年度の本会活動としましては、会員様のアカデミックサロン優待が実質的に始まりました事、新たな会員様をお迎えできたことをご報告させて頂きました。

さて、来年度の予告になりますが、産学連携部門の拡充が予定されておりまして、より研究者寄りの支援部門が設置される計画です。当会の現状活動に加えて「このような情報が欲しい」などの声をお聞かせ願えればと思います。

では、来年度も引き続き新技術情報クラブをよろしくお願います。(記: 還田 統括コーディネータ)

【発行 2016年3月24日】



国立大学法人 山梨大学
社会連携・研究支援機構
新技術情報クラブ事務局

〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37
TEL:055-220-8754 FAX:055-220-8757
E-mail:renkei-as@yamanashi.ac.jp
URL:<http://sangaku.yamanashi.ac.jp/>

大学TOPICS

山梨大学客員社会連携コーディネータ委嘱式および研修を実施!

平成28年3月18日(金)、甲府キャンパスにおいて、山梨大学客員社会連携コーディネータ研修を実施し、13機関から285名に平成28年度客員社会連携コーディネータを委嘱しました。また、平成27年度に顕著な活動をしたとして客員社会連携コーディネータ3名が表彰され、日ごろの客員社会連携コーディネータ活動への敬意を表するとともに、今後ますますの協力をお願いしました。今後も、産学官連携のネットワークの更なる強化を図り、大学の知的財産や知見などを活かし、より一層の地域貢献を図ることとしています。

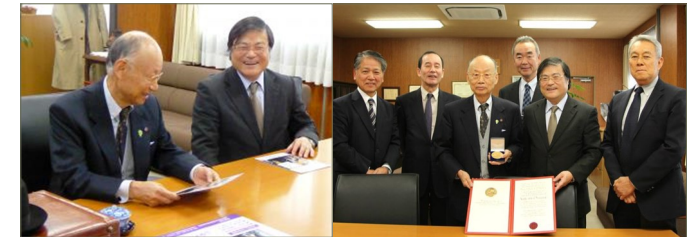


研修会の風景

客員社会連携コーディネータ集合写真

大村 智 先生が来学しました。

平成27年12月21日(月)、大村 智 先生が来学しました。大村先生は、島田眞路学長らにノーベル賞の表彰状やメダルを披露し、授賞式のお土産話に花を咲かせました。また、島田学長から「山梨大学大村智記念基金」について報告があり、大村先生より「私も目標額に向けて協力します。大学でもぜひ頑張ってください、記念ホールの建設等を達成してください」と励ましのお言葉を頂戴しました。



「山梨大学大村智記念基金」のご報告(左)と 記念撮影(右)

「地域未来創造センター」が本格始動しました。

山梨大学では、文部科学省「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+事業)」の採択を受け、平成28年1月4日(月)、地域未来創造センター看板掲式が行われました。同センターは、これまで「地(知)の拠点整備事業(COC事業)」の推進主体であった「COC推進センター」を改組・再編したもので、地域再生・活性化を担い、世界につながる産業の展開に貢献することができる人材の育成を図るとともに、地方公共団体や企業等と協働し、新規事業の創出などを通じ学生にとって魅力ある地域の就職先の創出・開拓等を行い、本学卒業生の地元定着を目指します。式では、島田眞路学長が「地域未来創造センターが中核となり、人材育成などの地域貢献に全学で取り組んでいく」と挨拶しました。



島田学長(左)と北村センター長(右)

「COC+キックオフ・シンポジウム」を開催しました。

1月21日(木)、ホテル談露館(甲府市)において、文部科学省 平成27年度「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」「オールやまなし11+1大学と地域の協働による未来創生の推進」キックオフ・シンポジウムを開催し、約300名が参加しました。第1部(全体会)では、島田眞路 学長から「本事業の責任大学として先頭に立って頑張りたい」との挨拶に続き、来賓の佐野 太 文部科学省大臣官房総括審議官より本事業への期待を寄せる祝辞を頂戴しました。また、事業協働機関を代表して、後藤 山梨県知事(代理:守屋 守 県企画県民部長)、金丸 康信 県商工会議所連合会会長、清水一彦 山梨県立大学学長よりそれぞれ抱負を語られるとともに、北村眞一 本学地域未来創造センター長が本事業の概要を説明しました。第2部(分科会)は、第一会場「地域と大学の対話の場」、第二会場「大学COC事業からCOC+に向けて」及び第三会場「やまなしクラウドファンディング・オープニングイベント」の3会場に分かれて行いました。第3部では、総括として「COC+事業による地方創生～山梨県の活性化に向けて～」と題したパネルディスカッションが行われ、産学官金労言を代表するパネリストからは、「各界勢揃いの『オールやまなし』での取組は画期的だ」「本事業が長きに亘り継続するよう、各機関が協力・連携すべき」など、本事業へ取り組む強い決意等が述べられました。



挨拶する島田学長島田学長



熱心に聞き入る参加者

山梨大学特許最新情報

山梨大学が出願した最新特許情報をご紹介します。(企業等との共同出願を除く)
ご興味を持っていただける特許がございましたら、お気軽に本学の社会連携・研究支援機構 社会連携・知財管理センターまでお問合せ下さい。※ご紹介にあたり秘密保持契約の締結をお願いする場合がございます。

山梨大学が出願した最新特許情報につきましては、非公開の情報も含まれますので
会員 以外には公開していません。

産学官連携TOPICS

「農商工連携マッチングフェアやまなし」に出展しました！

山梨県商工会連合会・県下各商工会が主催する「平成27年度農商工連携マッチングフェアやまなし」が1月27日(水)甲府富士屋ホテルで開催され本学ブースではワイン研究をはじめとする技術シーズおよび共同・委託研究や学術指導など社会連携活動を紹介しました。本フェアは、中小企業者や農林漁業者等が互いの経営資源や地域資源を活用して開発した商品等の商談や販路開拓、取り組みの紹介を行うもので、本年度は第6回となり60社以上が出展しました。色々な商品やその販路の開拓が期待されます。



会場の多くの来場者

山梨大学ブースの風景

「テクノプラザおかや“ものづくりフェア”」に出展しました！

「テクノプラザおかや“ものづくりフェア2016”」が2月5-6日に岡谷市の二会場で開催され、本学はラオカヤ2F特設会場に出展し研究交流や成果をポスターで紹介しました。本フェアは、岡谷市がスマートデバイスの供給基地としての工業集積を活かし、ものづくり企業の製品を一堂に集めて情報発信するもので、ものづくりの素晴らしさを多くの方々に知ってもらうことを目的としています。企業のほか小中学校・高校そして大学・専門学校も出展する市民のお祭りの雰囲気があります。延べ5,110人も来場で盛大でした。



小学生に金属の熱処理実験

山梨大学ブースの風景

「FC-EXPO2016」に出展しました！

FC EXPO2017第13回国際水素・燃料電池展が3月2(水)-4(金)に東京ビッグサイトにて開催され、本学は山梨パビリオンに他の3社と共に
出展しました。本展は水素・燃料電池の研究開発、製造に必要なあらゆる技術、部品・材料、装置および燃料電池システムが一堂に出展する世界最大級の国際商談会です。本学からは燃料電池ナノ材料研究センターの「固体高分子形燃料電池」「水素・精製触媒」、クリーンエネルギー研究センターの「新規燃料電池」「水素の貯蔵」、「やまなし水素・燃料電池ネットワーク協議会」をポスターや写真で紹介し、国内外から多くの来場者がありました。



賑わう山梨パビリオン

説明するナノ研/飯山先生

コーディネーターによる【研究者紹介】

生命環境学科 地域食物科学科
ワイン科学研究センター 助教 乙黒実彩 (おとぐろ みさ)

生命環境学部地域食物科学科、ワイン科学研究センターの乙黒実彩先生をご紹介します。先生は山梨大学の卒業生で、学部4年より放線菌の分離・同定・応用の研究をしてきました。大学院では早川先生(現理事)のご指導の下で学位を取得、その後は(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンターで、国内およびインドネシア・モンゴル・ミャンマーなど東南アジアの国々で微生物を採る技術の移転を行ってきました。2012年4月本学生命環境学部地域食物科学科、ワイン科学研究センターの助教に就任しました。発酵微生物工学研究部室で研究対象を乳酸菌にして、食品の開発に利用できないか研究しています。研究の中心は、ミャンマーの発酵食品から採った乳酸菌に関する発酵特性や抗菌物質の探索など有用性の評価です。また、ワインについては、マロラクティック発酵乳酸菌の研究を行っています。赤ワインの発酵工程でのマロラクティック発酵をより安定化させる乳酸菌を検索することにより、ワインの味わいや香りの複雑さを加えようとするものです。先生の研究から生み出される新食品が楽しみです。先生ご自身は、ワインは(当然ですが)好きでよく飲まれるそうです。また、研究で見つけた多くの微生物の中でも、特に放線菌の形に魅力を感じるそうです。丸くクルクルしたものやバナナ状などがありその不定形さがよいそうです。話は変わりますが、先生は、大学の「研究サポーター制度」を活用し子育てと研究を両立させる研究者でもあります。男女共同参画が云われる中、女性研究者を勇気付けてくれる人でもあります。今後も、さらに大きな研究成果を期待したいと思います。(記:最上コーディネータ)



乙黒先生、研究室にて

産学官連携TOPICS、イベント活動ほか報告

アカデミックサロン(第10回)を開催しました！

第10回アカデミックサロンを平成28年2月10日(水)午後4時から甲府駅北口「CAFE 風土」にて開催しました。今回は工学部機械工学科の阿部壮志(あべたけゆき)助教から「産業用金属3Dプリンタとものづくり技術開発」と題し、3Dプリンタの歴史と原理、産業用金属3Dの技術と分類、そして専門のワイヤ・アーク放電式3D造形技術開発について、沢山の写真や映像を使って分かり易く聴かせて戴きました。3Dプリンタとは造形する機器のことですが、造形方法をAM(Additive Manufacturing)と云うそうです。ワイヤ・アーク放電式AMは、アーク放電とワイヤ材料を用いて金属を溶解・積層し造形するもので、低コストで多品種少量生産に対応できると期待される技術です。これまでの研究で、造形物は一般的なバルク材料と同等な強度が得られているそうです。まだ多くの課題はあるそうですが、興味深く期待も高まりました。また、聴きたいですね！



講師 阿部先生

第2部はワインを弁当

第10回アカデミックサロン風景

クラブ交流会(本年度第二回)を開催しました！

3月11日(木)15:00に、本クラブの2015年度第二回交流会を山梨大学にて開催し、12社から17人が出席されました。交流会では、大学からのご挨拶の後、生命環境学部地域社会システム学科 島崎准教授の講演「エネルギーとライフスタイル」、続いて機器分析センターを見学し 宮嶋准教授より分析機器の説明をして貰いました。その後、18:00より会場を甲府駅ビルCELEO 5Fスクエアに移し、中華料理を食べながらの懇親会を行いました。会員10人大学5人の出席で、和やかな雰囲気でした。皆様のご意見を戴きながら、さらに楽しい交流会にして行きたいと思っております。尚、来年度の会員継続については、別途、通知させていただきますので、宜しくお願い致します。



早川理事 挨拶

島崎先生 講演

会員、大学の出席者各位

交流会の様子(本学本部棟 第1会議室にて)

本クラブ会員企業様を訪問しています！

1月から3月の現在までに、本クラブ会員企業をあらたに2社訪問させて頂きました。企業様を訪ね事務所や会議室などの仕事場で話を伺う時、会社のHPや紹介資料では気付かなかった「仕事に掛ける本気さや熱意」を感じます。お忙しい中でのご対応に深く感謝致します。今年度の訪問は合計5社となっておりますが、新事業・新商品企画に関連した情報交換やフリートークが多いので、企業様にとって価値ある情報や考えを心掛けたいと思っております。企業訪問が会員様の夢の実現や課題解決に役立つものになる様、ご意見を戴きながら改善して行きたいと思っております。



(株)山梨県環境科学検査センター様 2016.1.14

(株)シー・シー・ダブル様 2016.3.3